

# PM5D V1.12 追補マニュアル

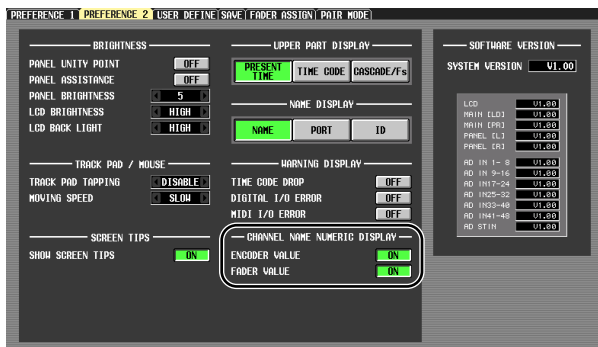
PM5D システムソフトウェア V1.12 では、V1.04 から以下の変更と補足がございます (V1.10 までの変更点も含まれます)。

## ENCODER [ON] キーでファンタム電源 (+48V) をオン / オフ (V1.05 から)

PREFERENCE 1 画面に「USE ENCODER-ON AS +48V」オプションが追加されました。このオプションをオンにすると、エンコーダーモードに HA(ヘッドアンプの入力感度)が選択されている場合、エンコーダーの上にある ENCODER [ON] キーでファンタム電源 (+48V) をオン / オフできるようになります。

## ネームディスプレイのパラメーター値表示をオン / オフ (V1.05 から)

PREFERENCE 2 画面に「CHANNEL NAME NUMERIC DISPLAY」欄が追加されました。V1.04 以前では、各チャンネルのフェーダーやエンコーダー(パン設定)を操作すると、ネームディスプレイがそのパラメーター値の表示に切り替わりました。V1.05 以降では、「ENCODER VALUE」(エンコーダーの値)および「FADER VALUE」(フェーダーの値)のオプションをオフにすると、それぞれのパラメーター値表示に切り替わらなくなります。

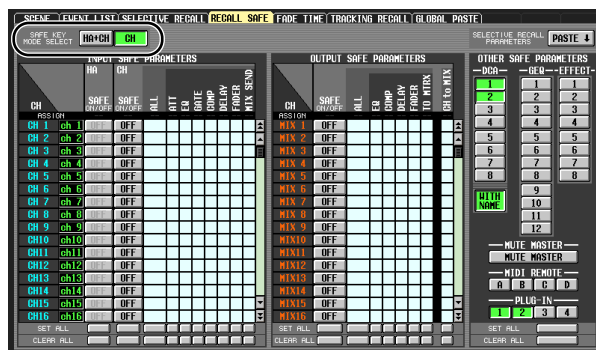


## パネル操作でのモニターソース選択 (V1.05 から)

パネル上でモニターソースを選択する場合、V1.04 以前では [2TR A1] ~ [2TR D3]、[DEFINE] のどれか一つと [STEREO A]/[STEREO B] (LCR 含む) のどれか一つを同時に選択できました (最大 2 つ)。V1.05 以降では、択一選択時に素早く切り替えられるように、各キーをオンにすると他のキーはオフになるようになりました。V1.04 以前と同様に 2 つを同時に選択するためには、パネル上の該当するキーを同時に押す、または MONITOR 画面で操作します。

## リコールセーフのオン / オフに HA も連動 (V1.05 から)

RECALL SAFE 画面に SAFE KEY MODE SELECT セクションが追加されました。HA+CH ボタンをオンにすると、パネル上の [RECALL SAFE] キーや CH VIEW 画面 (INPUT VIEW ファンクション) の RECALL SAFE ボタンの操作でリコールセーフをオン / オフしたときに、該当するチャンネルにパッチされている HA のリコールセーフも連動してオン / オフするようになります。CH ボタンがオンのときは、従来どおり連動しません。



## DCA グループ名のリコールセーフ / セレクティブリコールのオン / オフ (V1.05 から)

RECALL SAFE 画面と SELECTIVE RECALL 画面の DCA 欄に WITH NAME ボタンが追加され、DCA グループのリコールセーフ / セレクティブリコールの対象から DCA グループ名だけを外せるようになりました。WITH NAME ボタンがオンのときは、オンになっている DCA グループの DCA グループ名は従来どおりリコールセーフ / セレクティブリコールの対象になります。WITH NAME ボタンがオフのときは、DCA グループ名はリコールセーフ / セレクティブリコールの対象から外れます。

## リコールセーフ / セレクティブリコールのパラメーター動作 (V1.12 から)

リコールセーフ / セレクティブリコールする場合、奇数 / 偶数の順に並んだ 2 チャンネル / モジュールに対して一つしかないパラメーターの動作 (取扱説明書 162 ページ参照) が変更になりました。片方のチャンネル / モジュールだけがリコールセーフ / セレクティブリコールに設定されている場合、以下のような動作になります。

- **PAIR**  
強制的にオフになります (ペアが解除されます)。
- **GATE STEREO LINK**
- **COMP STEREO LINK**
- **GEQ LINK**  
LINK パラメーターは強制的にオフになります (リンクが解除されます)。
- **DELAY GANG**
- **ATT GANG**  
GANG パラメーターはリコールされます。リコールされて GANG がオンになった場合は、リコール後の DELAY / ATT パラメーターの値の差分を保って連動します。
- **MS DECODE**
- **FIXED/VARI**  
リコールされません。
- **PAN MODE**  
PAN MODE パラメーターは、リコールされます。ただし、リコールされて PAN MODE が BALANCE からその他に変更となる場合、および BALANCE 以外から BALANCE へ変更となる場合は、PAN MODE および PAN パラメーターはリコールされません。また、リコールされて PAN MODE が GANG PAN になった場合は、リコール後の PAN パラメーターの値の差分を保って連動します。

## Y96K カードに対応 (V1.10 から)

EFFECT ファンクションに PLUG-IN 画面が追加されました。また、SCENE ファンクションの RECALL SAFE 画面と SELECTIVE RECALL 画面に PLUG-IN パラメーターが追加されました。これらは、今後発売される Waves 社の Y96K カードに対応するためのものです。操作方法については、Y96K の取扱説明書をご参照ください。

また、Y96K カードは以下のような動作になりますので、ご注意ください。

- シーンデータとしてストア / リコールされますが、アンドゥ機能には対応していません。
- PM5D の電源を切って入れ直した場合、通常のシーンデータは電源を切ったときの状態になりますが、Y96K は最後にストアまたはリコールした状態になります。
- Y96K の設定が大きく変更されるようなシーンをリコールすると、PM5D でのリコールから数秒遅れて Y96K の設定が変更されます。このタイミングを合わせたい場合は、FADE TIME 画面で START OFFSET を設定してください。
- Y96K のアップデート待ち画面の状態では、シーンストア / リコール操作はしないでください。これを行なうと、最大 30 秒ほど画面を操作できなくなります。
- Y96K の設定は、シーンストアにより PM5D に保存されます。以前に Y96K を装着してシーンストアしたことがあれば、Y96K を装着せずにそのシーンにストアし直しても以前の Y96K の設定が残ります。また、一度も Y96K を装着していないシーンでは、Y96K を装着してリコールしても Y96K には何も反映されません。

- PREVIEW モードのときは、PLUG-IN 画面に Y96K の状態は表示されません。

## シーンリコール時に MIDI EVENT などの情報も引き継ぎ (V1.05 から)

シーンに含まれる MIDI EVENT、GPI OUT CONTROL、REMOTE TRANSPORT の情報が、シーンリコール時に引き継がれるようになりました。したがって、リコールしたシーンを別のシーンにストアすると、リコール時のこれらの情報がそのままストアされます。

## DME シリーズのモニターソース選択と EXTERNAL CUE のオン / オフ (V1.05 から)

DME CONTROL 画面に MONITOR ボタンとモニターソース選択ボタンが追加されました。モニターソース選択ボタン (☑) をクリックすると、MONITOR POINT SELECT ウィンドウが表示されて、DME シリーズのモニターソースを選択できます。MONITOR ボタンをオンにすると、ディスプレイ上部の EXTERNAL CUE インジケーターがオンになり、DME シリーズのモニター信号を PM5D の CUE バスに送り出します。



### Note

MONITOR ボタンをオンにする場合は、あらかじめ DME シリーズ側のモニター出力と PM5D 側のモニター入力と同じポートを選択しておいてください。DME シリーズ側のモニター出力は、DME Designer の [Tools] メニュー → [Monitor] を選択すると表示される [Monitor Out] ダイアログボックスで設定します。PM5D 側のモニター入力は、DME CONTROL 画面の SETUP の MONITOR PORT で設定します。

## DME64N/24N のバージョン (V1.12 から)

DME CONTROL 機能を使用するには、PM5D が V1.12 以上、および接続されるすべての DME64N/24N がバージョン 1.1 以上である必要があります。

## バルクダンプで扱うデータタイプの追加 (V1.05 から)

バルクダンプで扱うデータタイプに以下が追加されました。

Data name (D0)	Data Number (D1,2)	tx/rx	Function
'K'	512 (Current Data)	tx/rx	Surround Setting & Request
'V'	512- (Current Data)	tx/rx	User Defined Keys & Request
'L'	512- (Current Data)	tx/rx	MIDI Remote & Request
'U'	512- (Current Data)	tx/rx	Fader Mode & Request

## SETUP データの互換性 (V1.05 から)

システムソフトウェア V1.05 以降で作成した SETUP データをシステムソフトウェア V1.04 より前のシステムにロードすることはできません。ただし、V1.04 より前のシステムで作成した SETUP データは、V1.05 以降のシステムにロードできます。

## シーンデータの互換性 (V1.10 から)

Y96K カードの対応に伴い、シーンデータ (ALL DATA、SCENE MEMORY、SCENE MEMORY with LINKED LIBRARY) の互換性が以下になりました。

システムソフトウェア V1.10 以降で作成したシーンデータをシステムソフトウェア V1.05 より前のシステムにロードすることはできません。ただし、V1.05 より前のシステムで作成したシーンデータは、V1.10 以降のシステムにロードできます。この場合は、Y96K の設定はロード前のままになります。また、V1.10 以降のシステムでこのデータをセーブすると、Y96K に対応する分データ容量が大きくなります。

## システム起動直後のシーン / ライブラリーの動作について補足

PM5D は、システム起動後に数分程度かけて、シーン / ライブラリーのデータを内部メモリー間で転送しています (転送時間はデータ量によって異なります)。したがって、この期間には以下の制限があります。

- ・ GLOBAL PASTE 画面の PASTE ボタンは実行できません。
- ・ シーンメモリーの UNDO 機能は実行できません。
- ・ シーンリコールに若干時間がかかります。

## Studio Manager (PM5D Editor) に対応 (V1.10 から)

付属のアプリケーションソフト Studio Manager で PM5D をコントロールできるようになりました。Studio Manager について詳しくは、Studio Manager インストールガイドをご参照ください。

